

豊かな自然と 町民の快適な生活環境を 守るために

広野町ポイ捨ておよび犬のふんの 放置防止に関する条例を制定

この条例は、空き缶やタバコ等のポイ捨てによる散乱防止と犬のふんの放置防止について必要な事項を定め、環境の美化を推進し、町民の生活環境を確保することを目的としており、平成23年4月1日より施行されます。

今後は、それらの行為を監視したり、喫煙マナーなどを指導する「ポイ捨て等防止監視員」が置かれ、町の指導および勧告に対し、正当な理由がなく従わないときは、3万円以下の過料が処されます。

▲新年の幕開け（平成23年初日の出・みかんの丘より望む）

12月定例会

平成22年第4回定例会を12月14日から15日までの会期で開きました。今回は、広野町ポイ捨ておよび犬のふんの放置防止に関する条例の制定をはじめ、一般会計および特別会計補正予算案など、6議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。なお、一般質問では7人の議員が、それぞれ町の対応や考えを問いただきました。

啓蒙活動に力を注げ

中津伸一議員 この条例が制定されたならば、いち早く町民に知らせ、環境美化に対する意識を高めることが重要と考えますが、今後どのような啓蒙活動を行っていくのですか。

根本福祉環境グループリーダー この条例はモラルの向上をはかることが目的であり、平成23年4月の施行に向け、広報ひろへの掲載や回覧、さらには啓発看板の設置などで周知の徹底に努めていきます。



▲不法ゴミの分別をする環境美化推進員

12月補正予算

1億379万円

12月定例会に提案された一般会計補正予算ならびに4つの特別会計補正予算は、一般会計は主に土地購入費のほか、道路新設改良費の計上で、特別会計は主に居宅介護サービス給付費などの計上でした。

12月補正の結果

会計名	補正後の予算額 (補正額)
一 般	38億 917万円 (9014万円)
国民健康保険特別	6億 1752万円 (32万円)
介護保険特別	4億 1013万円 (1267万円)
後期高齢者医療特別	4347万円 (66万円)

主な補正内容

○一般管理費	595万円
○財産管理費	3697万円
○老人福祉費	△216万円
○障がい者福祉費	830万円
○児童措置費	△603万円
○道路新設改良費	2001万円
○農業施設災害復旧費	392万円
○居宅介護サービス給付費	1267万円

※金額は、全て万円未満を切り捨てて表示しています。

新年のごあいさつ



広野町議会議長 坂本紀一

新年明けまして、おめでとございます。町民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

昨年は、7月に行われた参議院議員選挙に

おいて、民主党が過半数を確保できず、いわゆる「ねじれ現象」を引き起こし、普天間基地移設問題や尖閣諸島問題など外交問題が続き、政局は混迷を深める結果となりました。また世界的金融危機

以降、円高が治まらず、国内の各企業では、新規職員の採用を見合わせているなど、今までの例がないほどの新就職氷河期が予想されており、2011年以降の日本経済の行き先に国民は不安感を募らせています。

明るいニュースでは、カナダのバンクローパーで開催された第21回冬季オリンピックや南アフリカで開催された